

## 夢に向かって

2019. 7. 22

中日本建設コンサルタント株式会社 福田 信夫

私には二男二女の子供がいます。幼いころからサッカーを続けている双子の娘について紹介させていただきます。

### ◆幼少から中学生時代

今年の1月に成人式を迎えた双子のゆいとまいがサッカーを始めたのは保育園の年中の頃、二歳上の兄が市内のスポーツ少年団でサッカーを習い始めたのがきっかけです。兄と同じ少年団で男の子に混じって練習に励んでいた小学3年の夏、名古屋に女子だけのチーム（名古屋FCレディース）があるのを知り、体験入団を経て4年生からこのチームでお世話になりました。

女子は男子に比べてチーム数が断然少ないため、男子のような地区予選もなくいきなりU10の県大会に出場となり、大変驚いたことを覚えています。また会場も少年団の時には使ったこともない立派な施設で、さらに優勝までしたので2度驚きでした。小学6年生の時には、フットサルや草サッカーの全国大会でも優勝し、素晴らしい体験をさせてもらいました。



チームメイトと



左がゆい 右がまい

中学1年生の時、なでしこジャパンがワールドカップで優勝したのをきっかけに、ただ好きでやっていたサッカーに大きな夢・目標ができました。“なでしこジャパンのメンバーになる”ことです。より一層練習に励むこととなりましたが、2度出場した中学での全国大会はどちらも初戦敗退となり、悔し涙を流しました。

中学3年生になると、地元の高校に通いながらこのまま名古屋のクラブチームの一員として続けるか、サッカー部のある高校へ進むか色々悩んだ末、静岡県の藤枝順心高校へ進学することに決めました。

### ◆高校生時代

藤枝順心高校は、地元のみならず全国から生徒が集まるため、部員も50名を越えるほどの大所帯でした。親元を離れた寮生活で、また、先輩・後輩の上下関係の厳しい環境でうまくやっていけるか心配しましたが、持ち前の明るさと根性でお互い励ましあいながら日々トレーニングに励んでいたようです。

2年生になると二人ともレギュラーになり、冬の選手権では9年振りの優勝となりました。また3年生ではゆいは主将となり、夏のインターハイでは創部以来、初めて優勝することが出来ました。



インターハイ表彰式後にみんなで万歳！



左がまい(GK) 右がゆい(MF)

高校最後の冬の選手権は連覇を目指して頑張りましたが、惜しくも準々決勝で敗退し、二人の高校サッカー生活が終わりました。

### ◆高校卒業後

高校を卒業後、初めて二人は別々の進路となりました。ゆいはなでしこ1部リーグ所属のINAC神戸へ入団し、まいは同2部リーグ所属の日体大へ入学し、別々のチームで頑張ることとなりました。

離れ離れになっても励ましあい、努力した結果、卒業後1年目に、ゆいはなでしこリーグの新人賞を受賞し、まいが所属する日体大は1部リーグに昇格することができました。卒業後2年目にはお互い同じリーグに所属することとなり、対戦相手として同じピッチに立とうと誓い合った二人でしたが、その機会を得ることは出来ませんでした。

しかし、昨年は別の形で同じチームのメンバーとなる機会を得ることが出来ました。フランスで開催されたU-20の女子ワールドカップの日本代表メンバーに選ばれたのです。二人とも意気揚々とフランスへ旅立ちましたが、ゆいは膝の怪我で長期離脱を余儀なくされ、まいは試合の出場の機会を得られず、日本は優勝しましたが、嬉しさ半分、悔しさ半分で帰国の途につきました。

#### ◆まだまだこれから

長い長いリハビリ生活が終わりを告げ、今年の6月末のホーム戦でゆいは復帰することが出来ました。たくさんの人々が支えてくれたお陰でこの日を迎えられたことを忘れずに、夢に向かってこれからも突き進んで欲しいと思います。



復帰戦終了後、ファンへお礼の挨拶

まいも大学生としての学業と、なでしこリーグの一員としてのトレーニングの両立は大変かと思いますが、夢に向かって頑張ってくださいと思います。



日テレベレーザ戦の一コマ

ほんの数年前、まだ中学生で同じ屋根の下で暮らしていた頃、まさか二人がここまで成長できるとは私自身想像もしていませんでした。これからの数年間で、二人の夢が叶うのかどうか将来のことは全く分かりませんが、関係者の皆様に感謝しつつ見守っていきたいと思います。